

# デーリー東北

2024年(令和6年)7月18日(木曜日) (10)

## ドクターカー開発道のり解説

### 八工大・浅川准教授が講演

六戸

六戸町教委は10日、町文化ホールで町内中学生向けに進路講演会を開いた。八戸工業

大工学部工学科の浅川拓克准教授が講師を務め、八戸市立市民病院と共に開発した移動型緊急手術室「ドクターカーV3」が完成するまでの困難や道のりについて解説。目標に向けて諦めず努力を続けることの大切さを伝えた。

講演会は、生徒が進路を考える際の参考にしてもらうと毎年開催。今回は町立六戸中と七百中の生徒約280人が参加した。

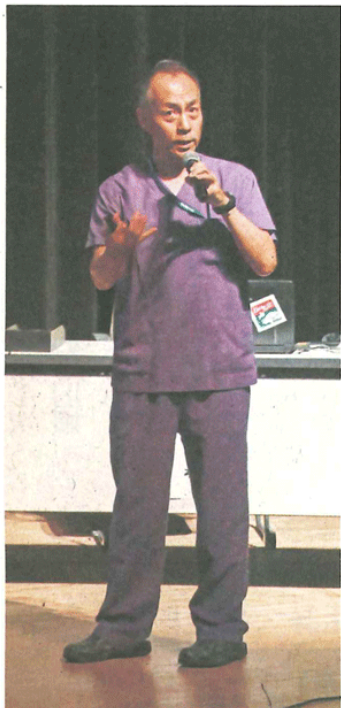
講演で浅川准教授は、試作

を重ね法律の壁を乗り越えて、2016年のドクターカー運用開始にこぎ着けた経緯をスライドや動画を見せながら説明。

挫折の度に、必ず助けられる人に出会い、やる気を取り戻したと振り返り、生徒たちに「やり遂げたいという気持ち思い描き続け、努力を続けてほしい。そうすれば、いつか誰かが助けてくれる」と語りかけた。

七百中3年の小笠原美緒さん(14)は「将来の夢は看護師。講演を聞いて八戸で救急医療に関わってみたいと思った」と話した。

(松橋広幸)



ドクターカーV3開発の道のりを語り「挫折しても努力を続けて」と呼びかける八工大の浅川拓克准教授

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。